18　　苦手な客の撃退法 　文法　否定形①　基本的な否定構文

　王　㆓ヒテ 　㆒ハク、「　ノ 来リテ 使ヒスル 者　多ク 健ナリ。与㆓ト ①　㆒争㆑ヒ 辞ヲ、寡　人 ㋐数　窮ス 焉。②㆑　奈　。」甘　茂 ㋑対　、「王　㆑カレ フル 也。 其ノ 健ナル 者　来リテ 使ヒセバ、則チ ③王　㆑ ㆓　㆒。 其ノ 　ナル者　来リテ 使ヒセバ、則チ 王　必ズ 聴㆑ケ 之ヲ。然ラバ 則チ 需　 者　、而 ④　者　不㆑ 矣。王　テ 而　制㆑セヨト 之ヲ。」

語注

甘茂＝秦国の大臣。

楚客＝楚の国からの訪問者。

健＝気が強く弁の立つこと。

需弱＝気が弱くて口べたなこと。

【原文】

秦　王　謂　甘　茂　曰、「楚　客　来　使　者　多　健。与　寡　人　争　辞、寡　人　数　窮　焉。為　之　奈　何。」甘　茂　対　曰、「王　勿　患　也。 其　健　者　来　使、則　王　勿　聴　其　事。 其　需　弱　者　来　使、則　王　必　聴　之。然　則　需　弱 者　用、而　健　者　不　用　矣。王　因　而　制　之。」

問一　次の「内容わしづかみ」の空欄に本文中の漢字を書き入れよ。

秦王は、楚からの弁の立つ〔　　　　〕との論争で〔　　　〕することが度々あった。そこで甘茂は、弁の立つ者が〔　　　〕の使者として〔　　　〕いられないようになる助言をした。

問二　波線部㋐･㋑の読み方を、送り仮名も含めてひらがなで答えよ。（現代仮名遣いでよい。）〈4点×2〉

㋐〔　　　　　　　　　　〕　㋑〔　　　　　　　　　　〕

問三　チェック問題　否定形①　基本的な否定構文

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 未㆓ダ 〜㆒〔セ〕 | | （莫・勿・毋・亡）㆓〜㆒〔スル（コト・モノ）〕 | | （匪）㆓〜㆒ニ | |
| まだ～しない。 |  |  | ～〔する（こと・もの）〕無し | ～ではない。 |  |

　⑴　次の表を完成させよ。〈1点×3〉

⑵　次の文を現代語訳に従って、書き下し文にせよ。 〈2点×2〉

1　己ノ 所㆑ 不㆑ル 欲セ、勿㆑カレ 施㆓スコト 於　人㆒ニ。 （論語）

　　（自分が好まないことは、他人に対してもしてはならない。）

2　　未㆑ダ 知㆓ラ 天　命㆒ヲ。 （史記）

　　（お前はまだ天命を知らない。）

1〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

2〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問四　傍線部①について、

　⑴　意味を答えよ。〈4点〉

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

　⑵　具体的には誰のことか。本文中から抜き出して答えよ。〈5点〉

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問五　傍線部②をすべてひらがなで書き下し文にせよ。 〈8点〉

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（。」と。）〕

問六　傍線部③を「其事」の内容を明らかにしながら、現代語訳せよ。〈9点〉

〔

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問七　傍線部④とはどういうことか。最も適当なものを選べ。 〈9点〉

ア　秦王が、毅然とした態度で使者に対応するようにすると、弁の立つ使者は来なくなるということ。

イ　秦王が、口べたな使者の言うことばかり耳を貸すようにすると、弁の立つ使者は来なくなるということ。

ウ　秦王が、どのような使者に対しても必ず厚遇するようにすると、口べたな使者は来なくなるということ。

エ　秦王が、弁の立つ使者ばかりを丁重にもてなすようにすると、口べたな使者は来なくなるということ。

〔　　　〕

【解答】

問一　使者　窮　楚　用

問二　㋐＝しばしば　㋑＝こたえて〈4点×2〉

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 未㆓ダ 〜㆒〔セ〕 | | （莫・勿・毋・亡）㆓〜㆒〔スル（コト・モノ）〕 | | （匪）㆓〜㆒ニ | |
| まだ～しない。 | 未だ～〔せ〕ず | ～（が・は）ない | ～〔する（こと・もの）〕無し | ～ではない。 | ～に非ず |

問三　⑴　〈1点×3〉

⑵　１＝己の欲せざる所、人に施すこと勿かれ。〈2点×2〉

　　　　　２＝爾未だ天命を知らず。

問四　⑴　私〈4点〉

⑵　秦王〈5点〉

問五　これをなすこといかん（。」と。）〈8点〉

問六　王はその弁の立つ使者の言うことを聞いてはいけません。〈9点〉

問七　イ〈9点〉

【現代語訳】

　秦王が甘茂に言うには、「楚の国から使者としてやって来る者たちは、気が強くて弁の立つ者が多い。（楚客が）私と議論すると、私はしばしば返事に窮してしまう。これについてどうすればよいのだろうか。」と。甘茂が答えて言うには、「王は心配してはいけません。気が強くて弁の立つ者が（秦に）使者としてやって来たならば、その時、王はそのことを聞いてはいけません。気が弱くて口べたな者が使者としてやって来たならば、その時、王は必ず先方の言うことを聞きなさいませ。そうすれば気が弱くて口べたな者が（使者として）用いられて、気が強くて弁の立つ者は用いられない（ということになります）。王はこの方法で相手を抑えなさいませ。」と。

【書き下し文】

にひてはく、「のりてひするくなり。とをひ、す。をすこと。」と。へてはく、「ふるかれ。のなるりてひせば、ちのをくかれ。のなるりてひせば、ちずをけ。らばちなるゐられ、なるゐられず。りてをせよ。」と。

【補充問題】

問１　傍線部②「為之奈何」を現代語訳せよ。

問２　「王勿患也」（３行目）を現代語訳せよ。

問３　「需弱者用」（５行目）とは、どういうことか。五十字以内で答えよ。なお、「需弱者」とは気が弱くて口べたな者のことである。

【補充問題解答】

問１　これについてどうすればよいのだろうか。

問２　王は心配してはなりません。

問３　秦王がよく話を聞くので、楚の使者には気が弱くて口べたな者が登用されるようになっていくということ。（48字）